

# 日本福祉大と 防災学習会

辰野、宮田など  
協定7自治体

日本福祉大学(愛知県)と防災に関する協定を締結する辰野町や宮田村を含む県内外の7自治体は17日、辰野町役場で防災学習会を開いた。同大と自治体防災担当者らが参加し、それぞれの防災の取り組みを報告し、情報交換を行った。

南海トラフ巨大地震の被災想定地域にあり、防災や減災に取り組む同大は、2014年に長野、富山、山形、愛知4県の7市町村(長野県内3町村)と「防災まちづくりの

推進および災害時における相互協力に関する協定」を締結。毎年各自自治体持ち回りで学習会を開いている。

この日は地元の辰野町が、4人の死者を出した2006



日本福祉大と県内外の7自治体が防災対策で意見を交わした学習会

(平成18)年豪雨災害の町内の被害状況や対応について報告。消防庁消防団等充実強化アドバイザーの古村幹夫さんが、辰野町における消防団活動や女性消防団員の採用などについて話した。

学習会の最後には、参加した各自自治体が、それぞれ推し進める防災、減災対策について報告した。  
(浜武司)